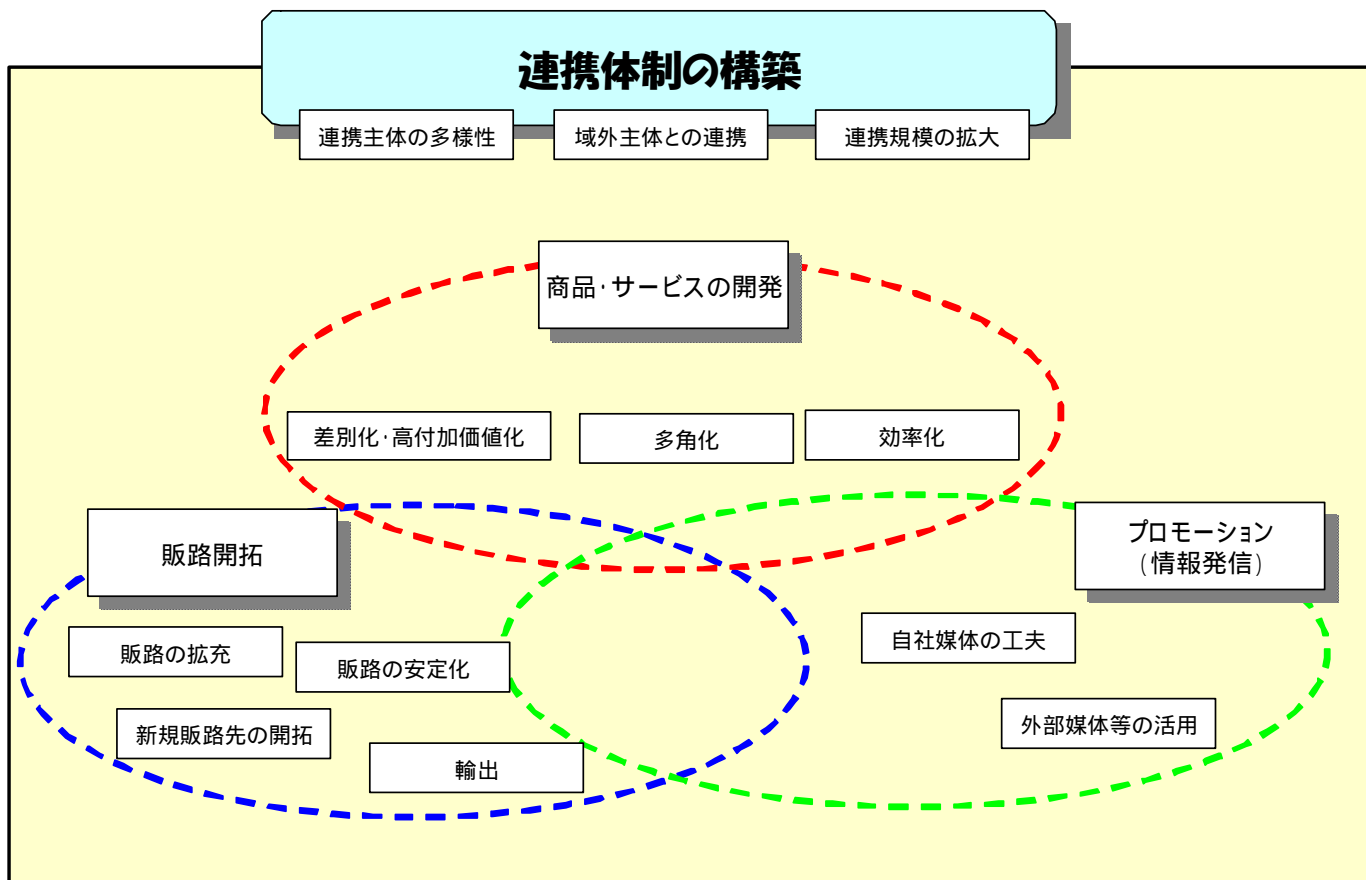


(別紙)評価のポイントについて

	例えば、以下のような特徴のある(創意工夫されている)事例を評価します。	
連携体制の構築に関する特徴	<p>(連携主体の多様性)</p> <p>◆ 地域内の異業種及び様々な分野の主体を連携に巻き込むことに成功している。</p> <p>(域外主体との連携)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 需要の掘り起こしや消費者ニーズの把握のため、都市圏の主体との連携を実現している。 ・ リレー出荷体制の構築や全国の生産者の組織化等、域外の主体との広域的な連携を実現している。 <p>(連携規模の拡大・面的展開)</p> <p>◆ 個々の事業者同士の連携に留まらず、地域の生産者の団体や商工業者の団体等が連携し、連携規模の拡大を実現している</p> <p style="text-align: right;">など</p>	
事業に関する特徴	商品・サービスの開発	<p>(差別化・高付加価値化)</p> <p>◆ 地域の文化等と連動した商品・サービスの「ストーリー」の形成等を通じたブランド化による差別化・高付加価値化を実現している</p> <p>(多角化)</p> <p>◆ 生産・加工・販売に留まらず飲食、体験、観光等のサービスにまで展開している</p> <p>(生産プロセスの効率化)</p> <p>◆ 技術・ノウハウを工夫して、生産効率を向上させている</p> <p style="text-align: right;">など</p>
	販路開拓	<p>(販路の拡充)</p> <p>◆ 生産者や加工業者、小売店の組織化により、商品・サービスの提供規模を拡大し、販路を拡充している(例えば、ITの活用など)。</p> <p>(既存販路先の安定化)</p> <p>◆ 消費者を会員化するなど、顧客との継続的な取引関係を実現する仕組みを工夫している。</p> <p>(新規販路先の開拓)</p> <p>◆ 地場野菜を使ったレストラン経営、学校給食、社員食堂との連携や、地域内のみならず、都市圏などへの</p>

(参考) 想定する掲載事例のイメージ



地域活性化への寄与
(売上増、雇用創出等の経済効果、地域の未利用資源の活用、地域の社会的課題の解決等)